

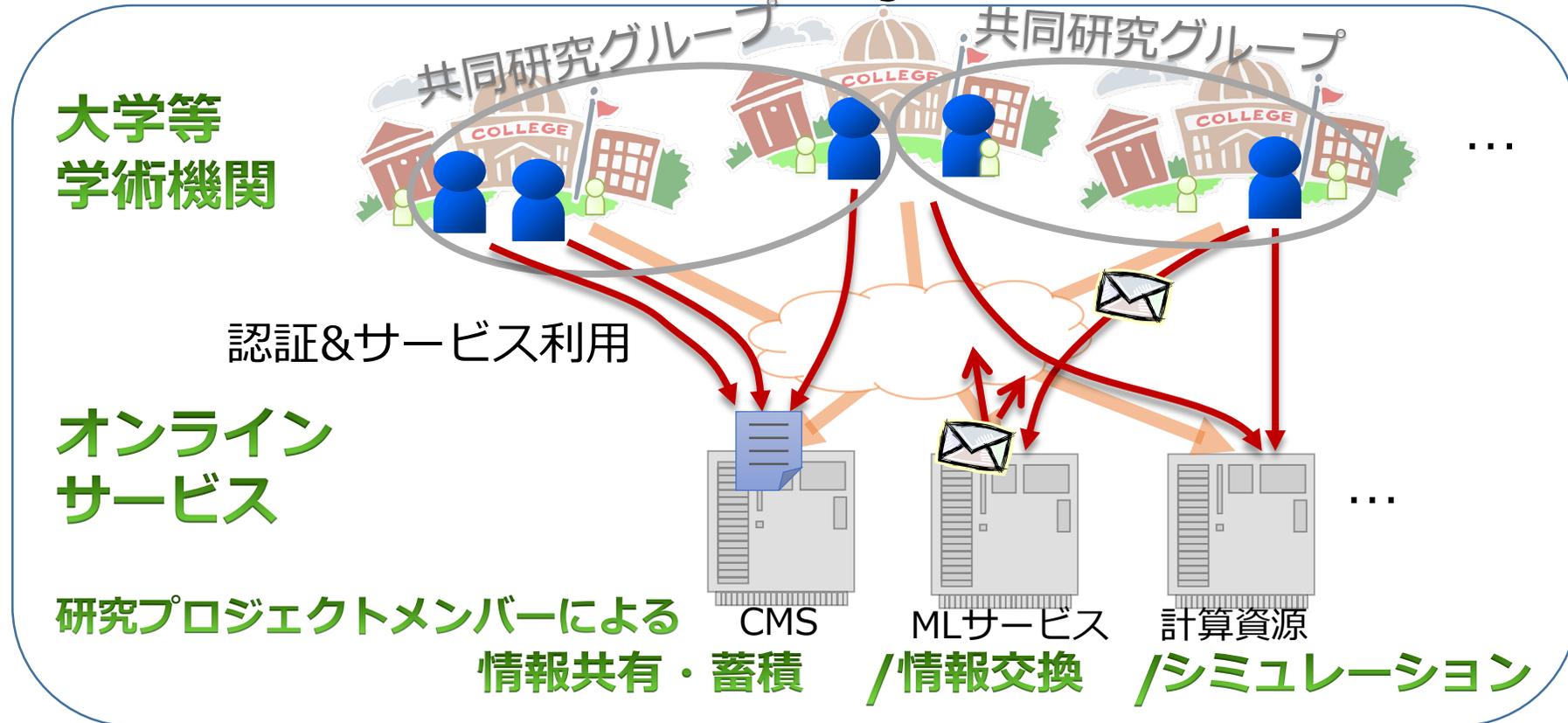
学認におけるグループ管理の現状について

2024.6.12 NII学術情報基盤オープンフォーラム2024
国立情報学研究所 西村健

グループ機能の利用例： 研究教育活動を支援するサイバースペースの提供

研究教育活動支援の各種オンラインサービスが簡単に利用できる場

- 研究活動/教育活動 - 例えば
 - 研究プロジェクトの推進（情報共有、情報交換、スケジューリング、計算資源利用）
 - 論文作成（文献検索、文献閲覧、収集・蓄積）
 - 講義の実施（履修登録、資料提供、e-Learning）

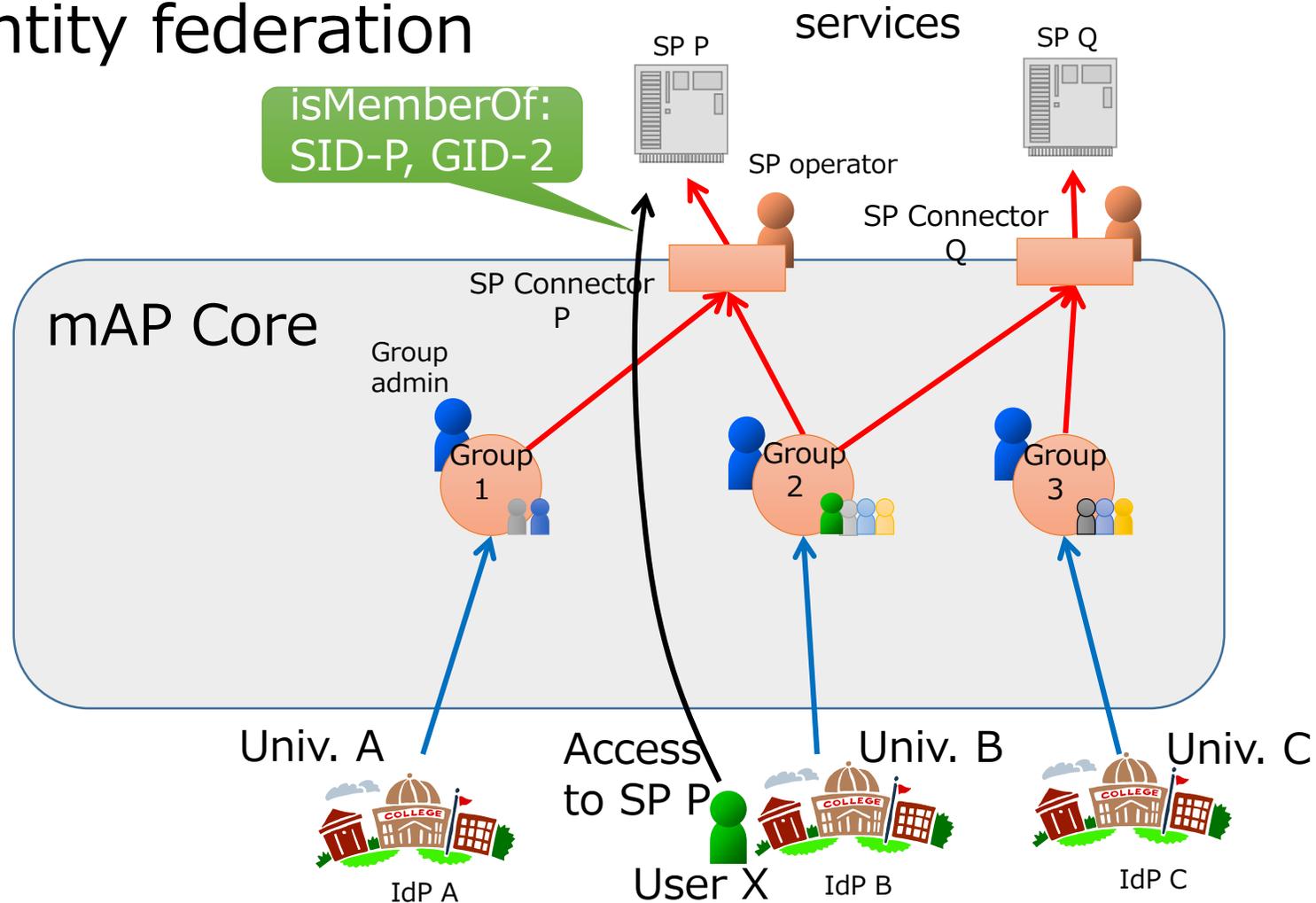


学認のグループ機能の変遷

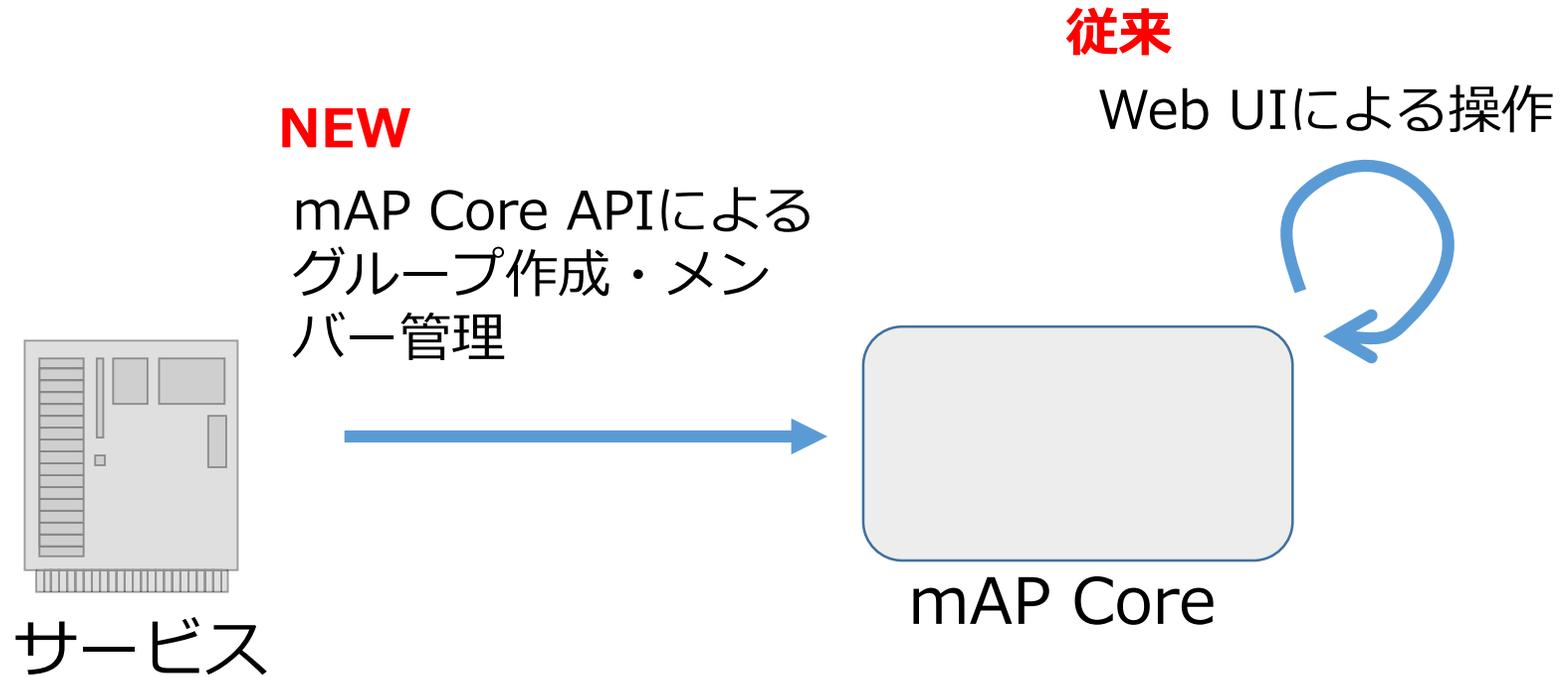
- 今回の内容は以下を包含します
 - GakuNin mAP
 - 学認クラウドゲートウェイサービスのグループ機能
 - mAP Core
 - (今後未定)
- グループ機能：共同研究グループなど学認のIDの任意の集合を「グループ」として扱い学認参加SPに対してグループ情報・メンバー情報を提供する
 - 利用例：
 - しぼすけ: スケジューリングサービス
 - 学認LMS: e-Learningシステム
 - meatwiki: グループ機能対応Wiki
 - meatmail / meatmail-lite: グループ機能対応メールリストサービス
 - クラス向け実習システム
 - 全てのSPが全ての情報を取得できるわけではなく、グループが利用するSPを選択しそのSPに限って情報提供する（情報の保護）

学認のグループ機能の現状 : mAP Core

- provides membership information of groups to services within an identity federation



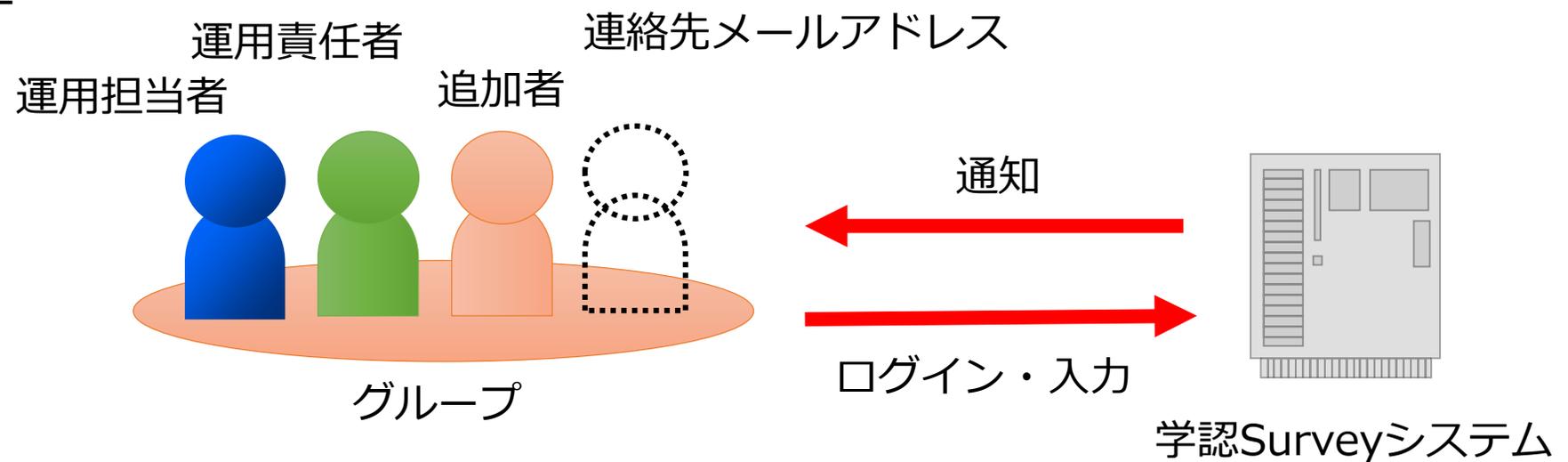
mAP Core API



接続例：学認Surveyシステム

- 各参加機関の担当者（運用担当者・運用責任者）に対して調査・アンケートを行うシステム
 - 担当者が複数おりそれをグループとして、認証した上で入力させる
 - 適格者を自分で追加・削除することが可能
 - 通知先メールアドレスを追加可能
 - 学認で例年行っている学認参加IdP運用状況調査に利用

A大学



学認Surveyシステム（続き）

- mAP Core上に機関の数だけグループを作成する
- 通知には既存MLサービスであるmeatmailが利用できる
- 認可のためのグループ情報をmAP Core APIで取得する

グループ機能の拡張に向けた背景と課題

- 課題1：グループ管理者のメンバ管理の負担を軽減したい
 - mAP Core（少人数の研究などのグループ向け）では、メンバ情報は個々に管理が必要
 - メンバを個々に管理する場合、グループ管理者の作業負担大
 - メンバの追加、削除漏れ等の可能性大
- 課題2：所属などの属性を基にしたグループを容易に作成し、認可に使用したい
 - SP側で、学部、学科、センター等（もしくはもっと小単位）の単位で認可が求められるようになってきた
 - mAP Coreでは、所属などの属性を用いたグループ作成を行うことが難しい
 - そもそもIdPには認可に使用できる所属などの属性情報を持っていない
 - （ただし、IdPは組織単位での認可は可能）
- 人は様々なグループに所属しており、全てを管理するのは困難
 - 認証基盤DBでは主の所属のみ管理されている場合が多い
 - 実際は主の所属以外の単位で動くことが多い（A先生は授業は情報学研究科で行うなど）
 - 組織(事務)として、把握が難しいグループがある（A先生はセキュリティ研究チームに参加しているなど）
 - 組織外のグループに所属している場合もあり



ex) A大学A先生の場合：
主の所属：情報メディアセンター
兼務：情報学研究科
その他：セクハラ対策委員会
セキュリティ研究チーム
B大学、AI検討会

課題解決に向けて

- まずは、SPが求める利用範囲（学部、学科、センター等（もしくはもっと小単位）の単位）をグループとして作成し、認可に使用できるようにする
 - ただし、グループは、複数のSPで使いまわせるグループとする
 - 単一のSPしか使わないグループは、SP内で認可情報の管理を行えばよいと考える
- 作成するグループは、なんらかの属性から導かれるものとし、グループ管理者のメンバー管理を軽減する
 - 原則は、属性は既存情報（学内のDBなど何らかの形で管理されている情報）を用いる
 - ただし、兼務などの情報も柔軟に対応できる仕組みにする
- SP側にあまり手を入れずに認可できる仕組みとする
 - IdPで認証時にグループ情報を一緒に渡せるようにするとよい
 - Orthrosにグループ情報を持たせると、グループ情報付きの認可ができるようになる